

令和 7 年度 綾瀬市立綾瀬中学校 学校関係者評価報告書

<p>綾瀬市教育委員会の基本方針</p>	<p>(学校教育分野) 人を思いやり 社会を生き抜く力を身に付けた 綾瀬の子ども</p>	
<p>学校教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを生かす人 ・共に生きる人 ・健やかな人 	
<p>学校経営方針 (ランドデザイン)</p>		
<p>今年度の重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 確かな学力と自立する力の育成 2) 健康で心豊かな生徒の育成 3) 地域に開かれた質の高い教育の推進 	
<p>取組分野</p>	<p>評価の観点</p>	<p>学校の自己評価と改善策</p>
<p>1 学習指導</p>	<p>学校は、「学びを生かす人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。</p>	<p>生徒の約9割が肯定的な回答でした。これは昨年度と同等で高い水準を維持しています。また保護者も2ポイント向上し、7割を超えました。全教職員で同じ取組をした結果、生徒がどの授業に対してもルーティンとしてとらえることができたからだと考えます。さらに、少人数授業や放課後の学習会の開設などで、一人ひとりの課題の克服にも力を入れてきた成果と考えられます。</p>
<p>2 教育課程</p>	<p>生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。</p>	<p>9割以上の生徒と保護者が肯定的な回答をしています。このことから学校行事や部活動に対して大変意欲的に取り組んでいる様子うかがえます。学校行事では、全校や学年単位での活動を通じて、学校や学年の一員としての意識や一体感を深め、部活動では、共通の目標に向かって協力することで、連帯感を高められていると考えられます。保護者の方も学校行事や部活動に対してサポートしてくださり、学校の取組に対する協力と理解が深いと考えます。今後も、生徒が主体的に取り組むことができる行事の運営を目標としていき、心身の健全な発達を育んでいきたいです。</p>
<p>3 児童・生徒指導</p>	<p>学校は、「共に生きる人」を育てる指導を積極的に行っている。</p>	<p>9割以上の生徒が「思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。保護者も9割以上が「お子さんが、思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。その割合が生徒・保護者とも学年が上がるごとに増加していることから、日々の学校教育が家庭や地域に支えられ浸透してきていると思われれます。また本校生徒の素直で心やさしい気質は、保護者や地域の方々とのあたたかい人間関係にあると考えられます。今後も教職員が生徒との良好な人間関係作りを意識し、道徳教育や読書活動、体験活動の推進に努めるとともに、保護者と教職員が生徒の健全育成に向けた活動を通して、心の育成を図っていきます。</p>
<p>4 児童・生徒指導</p>	<p>生徒は、友人や先生との学校生活に満足している。</p>	<p>約9割の生徒が「学校生活が楽しい」と回答しており、学校生活に多くの生徒が満足している様子うかがえます。これは、授業や学級活動、学校行事、部活動、委員会活動など、生徒間の交流を深めながら、個々の生徒が活躍できる場があり、そこが正しく機能していることが、充実感や満足感につながっているためと思われる。また、居心地よく整理された学校図書館や教室、昼休みの体育館解放など、安心して休み時間を過ごせる場所があることも、楽しさにつながっていると思われれます。併せて、教職員が生徒にとって安心・安全な学校を意識し、生徒一人ひとりのさまざまな課題に丁寧に対応した成果とも考えられます。一方、学校生活(特に人間関係や学習面)に不安を抱え、あまり思わない、そう思わないと回答している生徒がいることにも留意し、丁寧に対応していく必要があります。今後も、安心できる環境を心がけ、生徒が活躍できる場を工夫していくと共に、さまざまな活動に対する意欲や満足感が高まるように支援・指導を行っていきます。また、ソーシャルスキルの向上を図り、生徒間の繋がりが深まるようはたらきかけていきます。</p>

5 児童・生徒指導	<p>学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。</p>	<p>いじめ対策について、昨年より約8ポイントの上昇が見られ、学校での取組が少しずつ保護者の方々に理解を広げているものの、依然として2割強の保護者は「あまり思わない」「思わない」という回答でした。これは、本校の教育活動に対し、保護者が不安に思っている場面があるという結果だと捉えています。これからも、保護者と丁寧な情報を共有し、何を不安に感じているのかを把握した上で、改めて全職員で「いじめゼロ」を目指し、いじめの早期発見・再発防止の取組を徹底していきます。</p> <p>いじめ早期発見のための取組として、月末のスクールアンケートで生徒の状況を把握し、いじめがあった場合は速やかに聞き取りを行いチームで対応していきます。また、未然防止のための取組として、4月には情報モラルの授業を実施し、SNSが起因するいじめ等の未然防止にも力を入れます。部活動や学級活動では、生徒が話し合い「いじめ防止三カ条」を作成し、月末のスクールアンケートで振り返りを行います。道徳科では、生徒の心の教育に努め、一人ひとりの人権を大切にする学校・学級づくりを目指した指導に努めていきます。</p> <p>今後も、家庭と学校とで情報共有を行い、協力しながらより連携した対応ができるよう心掛けていきます。</p>
6 保健管理	<p>学校は、「健やかな人」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>8割半ばの生徒が、「健康や体力に関心を持って生活している」と肯定的な方向に回答しており、これは昨年度に比べ今年度は5ポイント上昇しています。学年別では2年生の割合が9割と一番多く、次に1年生、3年生と続いており、健康に対して意識して生活している結果が表れていると考えます。また、保護者においても昨年から6ポイント上昇しており、今年度の数値は過去3年間で一番多い割合でした。生徒、保護者共に、健康に対する意識が高まってきていると考えられます。</p> <p>本校では「健やかな人」を育むために保健だよりの発行や保健室前の掲示を充実させ、健康について積極的にアプローチを行っております。さらに「綾瀬中学校ではスマートフォンの利用は夜9時まで」を合言葉にしており、今年度は、昨年度に比べ、生徒の利用時間が減っていることが、校内研究のアンケート結果からわかりました。生徒が健康や学習を意識して行動できている結果だと考えられます。今後も上記のような機会を通じ、自らが積極的に行動し、「健やかな人」を育む努力を積み重ねられるようにしていきたいと考えます。</p>
7 安全管理、教育環境整備	<p>学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。</p>	<p>今年度は震度5弱以上の震災を想定し、新たな取組として引き渡し訓練を同じ学区である綾南小学校と合同で実施しました。生徒の防災への意識も少しずつ高まりつつあると感じています。しかし、自身の身を守るためのヘルメットや防災頭巾の持参率が呼びかけてはいるものとても低いのが現状です。次年度に向け、新1年生には必ず持参するものとして整理し、防災に努めたいと考えます。今後も、地震・天候災害等を想定し、自ら考えて行動できる防災教育を計画的に実施し、生徒・教職員の災害時の対応に向けた意識をさらに高め、教育活動、施設の点検・整備を進めていきます。また、ここ数年実施している部活動代表生徒による救命処置の研修等も継続し、教職員だけでなく、生徒の安全に対する意識や技術の向上にも努めていきます。</p>
8 支援教育	<p>学校は、生徒に応じた支援の工夫をしている。</p>	<p>すべての教職員が個に応じた支援の工夫をしていると回答しています。</p> <p>具体的な取組として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職の活用や相談機関とも連携を図り、生徒支援を行うとともに、生徒のニーズがなくても、生徒アンケートの結果から相談の必要性があると思われる生徒を積極的にスクールカウンセラーにつなげるなど、スクリーニングによる支援も行っています。さらに、学習支援ルーム（通称：ルリエ）では、これまで主に集団生活に苦しさを感じている生徒の利用に加えて、学習面に不安を感じている生徒の学び直しの機会として、授業の取り出しという支援を行っております。</p> <p>今後も、教職員の共通理解のもと、生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズに応じた支援が強化できるように、校内の支援体制の整備に努めていきたいと考えていますが、個々の生徒への対応が増え、ニーズに応じた支援が追い付かず難しさを感じている現状があります。</p>
9 組織運営	<p>校長を中心とした運営組織になっている。</p>	<p>学校教育目標及びグランドデザインのもと、今年度のスローガン「誰かの答えじゃない。自分の答えを出せ！ ～笑顔と対話を大切に～」を目指し、総括教諭がグループメンバーの意見を吸い上げ、昨年度の反省や意見を反映しながら、新しい試みに果敢に挑戦し、各グループが連携・協働して所掌事項を遂行してきた結果と考えられます。</p> <p>今後も、学校運営組織がより機能するように、建設的に評価・見直しを行い、連携・協働して業務が遂行できるように意識の向上を図っていきます。経験の浅い教職員の育成も校内で図り、学校運営を強化していきます。</p>

10 教職員の研修	学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。	今年度は、「指導力向上・授業改善にむけた校内研究」、「教師の力量を高めるための研究研修」いずれの取組に対しても、肯定的な回答が9割強となっています。また、校外やWebで行われる研修に積極的に参加している教員も多くいました。さらに、研修で学んだ内容について復命するだけでなく、職員会議等の時間に、他の教職員に向けて発信する取組も行われ、効果をあげました。 今後も、校内研究を通して指導力向上・授業改善に向けた取組を活性化していくとともに、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができる生徒を育成するために、自らも力量の向上を目指し、積極的に研修等への参加を推進していきます。
11 教育目標・学校評価	学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。	これまでも教職員が、学校教育目標や学校グランドデザインで示された生徒像を目指して、教育活動を行ってきました。ここにはありませんが、生徒もグランドデザインを意識した活動が増え、9割の生徒がグランドデザインを知って活動しています。一方で保護者のグランドデザインの認知が今一つなので、より広めていける方法を探り、教職員、生徒、保護者と協力して学校教育目標を達成していきます。
12 情報提供、保護者・地域住民との連携	学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。	肯定的回答が8割を超えています。学校情報配信システムは欠席連絡の用途もあるため、多くの保護者がスマートフォン等にインストールしていますので、保護者に学校の様子がより伝わることになっています。引き続き学校だより・学年だより・保健だより等では授業の取組の様子や行事の振り返り、レクリエーションの写真など学校での生徒の様子が保護者に伝わるよう工夫をしていきます。また、懇談会や保護者全体会等では生徒の様子や課題、進路に関わる情報を保護者に届けていきます。地域に対しては学校ホームページを通じて学校の情報をお知らせし、地域の方々の協力を得ながら学校運営をしていけるよう努めていきます。

【学校運営協議会からの意見及び改善策】		
<ul style="list-style-type: none"> ・項目1「学校は、「学びを生かす人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。」について、約9割の生徒が肯定的な回答をしており、学校生活に満足している様子が伺える。授業においても学び合いや調べ学習等にタブレットが効果的に活用されており、工夫された授業の様子を確認できた。「わかる授業」の実践に向けて、先生方のタブレットの活用技術を高めていってほしい。また、学力の定着には、家庭学習も重要な要素と思われるので、授業と並行して「家庭学習の定着」にも力を入れてほしい。 ・項目2「生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。」について、9割以上の生徒と保護者が肯定的な回答をしている。体育祭・合唱祭ともに、生徒の笑顔が多く、意欲的な活動が見られた。行事が盛り上がるのは、伝統の要素が大きいと思う。3年生が下級生に伝えていくことが大切なので、今後も引き継がれていくことを願う。また、部活動は、地域展開に移行される準備が進められているが、これまでのように生徒が生き生きとやりがいをもって活動するための新システムの構築を切望する。そのためには、休日の活動（土・日のどちらか1日）について、指導をしてくださる先生に対しての対価等の議論を十分に行い、一人でも多くの先生方が関われる部活動の地域展開が推進されることを願う。 ・項目5「学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。」について、いじめについての迅速な対応や解決に向けた取組が行われている様子が、子どものアンケートからもわかる。一人ひとりの人権が守られるように、指導を継続してほしい。また、生徒のほとんどが携帯電話を持っている状況がある。SNSに起因するいじめの未然防止が図られることを願う。 ・項目6「学校は、「健やかな人」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」について、携帯電話は、小学校時代から持たせている家庭が多くなっているので小学校と連携して、使い方の指導だけでなく、携帯電話がもたらす健康への影響についても指導をはかることが大切だと思う。また、夜遅くまで携帯電話を使い、朝起きるのが遅く、朝食を取らない生徒がいる状況をよく聞く。また、朝食を十分に摂らない状況もあるようなので食育指導を充実させてほしい。 ・項目7「学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。」について、防災教育、交通安全指導では、安全対策だけでなく、安全は自分で守るという意識をもつ指導も併せてお願いしたい。自転車の交通規則が厳しくなっているので、家庭との連携の下、自転車の安全な使い方に向けた指導が必要だと感じる。また、校内を見ていてトイレの美化が気にかかった。みんなのトイレや体育館のトイレは、一般の方や保護者も利用する。他の活動のように、トイレ清掃の視覚化したマニュアルを掲示するなどして、改善を図ってほしい。 		